

# もっと知りたい！戦中・戦後の暮らし

昭和館では、常設展示室において「戦中・戦後の国民生活上の労苦」に係る歴史的資料を展示しております。

また、このような実物資料を活用した展覧会を各地でも開催してほしいという要望があり、平成13年から各地で実施してきたところ、このたび関係機関、各位のご協力をいただき、巡回特別企画展「もっと知りたい！戦中・戦後の暮らし」を、長野市において開催する運びとなりました。

本展では、実物資料を中心に、厳しい時代を生き抜いた人々が綴った手記や、その姿を記録した写真を通じ、母や子、そしてその時代に生きた人々の様々な思いや、苦難の多かった暮らしを紹介します。



焼け跡を歩く母子  
昭和20年(1945)9月  
米国立公文書館提供

## 記

【会期】	平成27年10月17日(土)～27日(火) ※26日(月)休館
【時間】	9時30分～17時30分 ※初日は9時30分からオープニングセレモニーを行います。
【会場】	ホクト文化ホール(長野県県民文化会館)ギャラリー 長野県長野市若里1-1-3
【入場料】	無料
【主催】	昭和館
【共催】	信濃毎日新聞社
【協賛】	日本遺族会第2ブロック(長野県遺族会 東京都遺族連合会 神奈川県遺族会 千葉県遺族会 埼玉県遺族連合会 茨城県遺族連合会 静岡県遺族会 群馬県遺族の会 栃木県遺族連合会 山梨県遺族会 新潟県連合遺族会)
【後援】	長野県 長野県教育委員会 長野市 長野市教育委員会 長野市民新聞社 週刊長野新聞社 NHK長野放送局 SBC信越放送 NBS長野放送 TSBテレビ信州 abn 長野朝日放送 INC長野ケーブルテレビ FM長野 FMぜんこうじ (公財)八十二文化財団
【問い合わせ】	〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1 TEL 03-3222-2577 FAX 03-3222-2575 学芸部 坂尻・吉葉 <a href="http://www.showakan.go.jp">http://www.showakan.go.jp</a>
【備考】	昭和館の事業は厚生労働省より委託を受け運営されております。
【同時開催】	「平和祈念展 in 長野」主催:平和祈念展示資料館(総務省委託) 「しょうけい館-戦傷病者史料館- 長野展」主催:しょうけい館(厚生労働省委託)
【講演会】	戦後70年3館合同企画講演会「伝えたい あの日、あの時の記憶」 平成27年10月23日(金)・ホクト文化ホール中ホール

## 展示構成

本展では全体を4つのコーナーに分けて紹介します。

「Ⅰ 家族の別れ」では、出征する人たちや戦地の家族の無事を祈る人々の様子を紹介します。

「Ⅱ 戦中の暮らし」では、昭和12年(1937)に日中戦争が始まり、人々の生活に現れた戦争の影響や、徐々に空襲が激しくなる様子を紹介します。

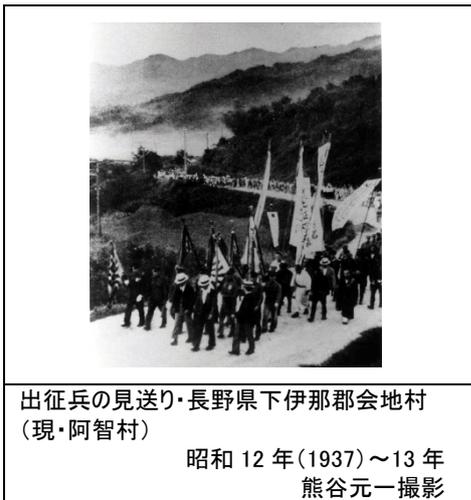
「Ⅲ 戦争が終わって」では、終戦を迎え、焼け野原から復興に向けて再出発した人々の様子を紹介します。

「Ⅳ 慰霊の旅」では、混乱した戦後の労苦を乗り越えた戦没者遺族たちの、戦没者への断ちがたい思いから行われるようになった戦没者慰霊事業の様子を紹介します。

## コーナー解説

### Ⅰ 家族の別れ

成人男子には兵役が課せられており、社会制度の一端を担っていた。戦争が始まると臨時に招集される人も急増し、出征する家族の無事を願って「千人針」を縫ってもらう光景が多く見られるようになった。



千人針

### Ⅱ 戦中の暮らし

昭和12年(1937)に日中戦争が始まると、長期戦を支えるために戦争に協力する体制が整えられ、やがては食料品や生活必需品の配給制度の導入や、金属回収が実施されるようになった。

子どもたちも影響を受け、昭和16年(1941)に尋常小学校は国民学校と改称された。昭和18年からは不足する労働力を補うため、中学生以上の生徒に対する勤労動員も本格化する。また昭和19年には、空襲の危険を避けるために学童疎開も実施された。そして、同年末から本格化した空襲によって、多くの都市が被害を受けた。

1. さまざまな統制
2. 戦中の子どもたち
3. 空襲、そして終戦



防空服装



鉄くずを集める子供たち・長野県下伊那郡会地村  
(現・阿智村)

昭和 13 年(1938)  
熊谷元一 撮影



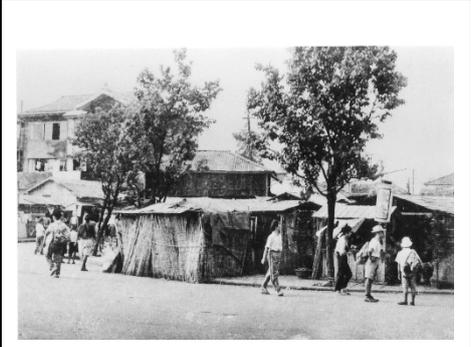
ポスター「金を政府へ総動員」  
昭和 14 年(1939)年頃

### Ⅲ 戦争が終わって

昭和 20 年(1945)8 月 15 日正午、「玉音放送」により戦争の終結が国民に知らされた。配給は滞り、食料などは非合法の闇市や買い出しによって手に入れざるを得なかった。戦争が終わると戦没者遺族に対する想いは一変し、翌年 2 月には恩給が停止されるなど、遺族を取り巻く環境も厳しいものとなっていた。

町には肉親を失った戦災孤児たちの姿が見られ、墨塗り教科書を使った授業が行われるなど、子どもたちの世界も混乱していた。やがて世の中は落ち着きを取り戻し、復興は進んでいった。

1. 廃墟からの出発
2. 遺された家族
3. 戦後の子どもたち
4. 復興に向けて

		
<p>長野駅前のバラック街 昭和 21 年(1946) 信濃毎日新聞社</p>	<p>墨塗り教科書</p>	<p>青空教室 昭和 20 年(1945) 共同通信社提供</p>

### Ⅳ 慰霊の旅

戦没者の遺族たちが、混乱した戦後の労苦を乗り越え、平和への願いを込めて臨んだ戦没者慰霊事業の様子を紹介する。

1. 遺骨収容
2. 慰霊巡拝



飯盒

パラオ諸島ペリリュー島・水府山にて収集された  
遺留品。銃弾が貫通した跡が残る。

## 検索・体験コーナー

会場内には展示の他にも以下の各種コーナーを設置しています。

### ・「<sup>せんしそうしょ</sup>戦史叢書／陸軍・海軍部隊略歴」検索・閲覧コーナー

昭和館 5 階の映像・音響室、4 階の図書室では『戦史叢書』と『部隊略歴』を電子化し、検索端末にて情報の提供を行っております。巡回特別企画展において端末を設置し、本館と同様の検索・閲覧を行うことが可能です。なお、『戦史叢書』は各地の図書館に所蔵されていますが、パソコンを使って「ことば」で検索できるシステムは当館独自のものです。

※ 戦史叢書とは、防衛研究所戦史室が編纂し、朝雲新聞社より昭和41年(1966)から51年にかけて出版された公刊戦史(全102巻)です。

※ 陸軍・海軍部隊略歴は、主に陸・海軍の部隊の編入から武装解除(復員)等までの部隊の行動を記したものです。

### ・「和男君の防空探検」

昭和17年(1942)に刊行された『防空絵とき』を題材として、パソコンを使って、防空の道具や工夫についてゲーム感覚で紹介します。



### ・「着てみよう」

国民服や防空頭巾など、戦中・戦後の衣服を着たり帽子をかぶることができます。



### ・「映像コーナー」

戦中・戦後の生活を経験した方々の証言をまとめた「昭和館オーラルヒストリー」の他、昭和館が所蔵するニュース映画の中から、長野県に関する番組をご覧いただくことができます。